

ごあいさつ

本日は当工業技術センターの昭和63年度研究成果発表会にご参加頂き、誠にありがとうございます。

また、皆様には日頃より当工業技術センターの活動に暖かいご支援、ご協力を頂き心からお礼申し上げます。

ご承知のように、工業系試験場の再編整備により昭和62年12月に、この地に設置されました当センターもお陰様で早くも丸1年余が経過いたしました。当初は移転等に伴う整備などにより、皆様にご迷惑をおかけしたことと思いますが、ようやくセンターとしての活動も軌道に乗り、今回ここに昭和63年度研究成果発表会を開催できることになりました。

当センターは、本日の研究発表にみられるような研究開発業務の他に技術指導・相談業務、依頼分析・試験業務の3本柱を中心に運営されています。このうち技術指導業務は県内企業の技術力の向上を目的として分野毎に外部講師の協力を得ながら進めており、本年度は延べ270以上の企業について行っており、また技術相談は本年度2月現在1,886件にのぼります。一方依頼分析・試験業務は、県内企業で必要とする現資材、製品などの分析評価のため行っており、本年度2月末までに1,818件にのぼります。この他センター内の各種の研究試験機器も多くの企業の方々にご利用頂いています。

さて、今回の研究成果発表会は今後当センターの最も基幹とする県内工業技術の発展に資する研究開発業務の概要を紹介するものですが、口頭発表およびパネル発表それに所内の一般公開も行います。これら発表・展示が皆様の参考になり、少しでもお役にたつことを願っています。また同時にこれらについて、忌憚のないご意見をお寄せくださるようお願い申し上げます。

当センターは“県内工業技術の拠りどころ”、“開かれた試験研究機関”との位置づけがなされていますが、このためセンター職員の一層の活動はもとより、今後ますます皆様の当センターの活用を切にお願いすると共に、皆様の声が実は当センターをより強力にする力であることを強調して、ごあいさつにかえさせていただきます。

平成元年 3 月 23 日

鹿児島県工業技術センター

所 長 今 川 耕 治